

常磐地区防災計画（素案）

基本計画編

避難所開設編

避難所運営編

令和 6 年 1 2 月改定

常磐小学校区自主防災会

## 目次

### 基本計画編

1. 常磐地区防災計画の位置づけ	1
2. 地震対策における避難所開設編を計画の中心とする理由	1
(1) 南海トラフ地震の被害想定（国と県）	1
(2) 香川県の被害想定調査報告書	1
(3) 観音寺市の被害想定	2
(4) 常磐地区の被害想定：観音寺市の被害想定より	2
(5) 常磐地区の被害想定：熊本地震よりイメージ	3
(6) 地震対策における避難所開設編を計画の中心とする理由	3
○風水害等は公助	3
○避難所避難者数が大きい	3
○巨大地震は自助・共助＝公助がない時期への対応意義が 極めて大きい	4
3. 計画の基本的考え方	4
4. 計画対象となる地区と作成主体	5
(1) 計画の対象となる地区	5
(2) 計画の作成主体	6
＜表6＞組織図（役員構成図）	6
＜表7＞組織図（令和5年度実動）	7
＜表8＞規約	8

### 避難所開設編

1. 避難施設の状況	16
2. 検証：常磐小学校への避難者数の予測	16
3. 問題点	17
4. 前提条件	18
【A晴天・昼間バージョン】	18
【B雨天・夜間バージョン】	18
5. 開設場所	19
6. 開設方法：手順書方式（東京都文京区の方法を模倣）	20
(1) 概要	20
(2) 手順書の配置	20
(3) 手順書の内容	20
(4) 訓練	21
7. 避難所の解錠と初動期連絡体制	21
(1) 避難所の解錠	21
(2) 初動期連絡体制	21

8. 資機材の調達	2 2
(1) 断水対応トイレ数の過不足	2 2
(2) 資機材調達計画	2 3
①訓練に必要な印刷物・消耗品	2 3
②訓練に必要な用品	2 3
③被災時の公的支援がない時期に必要な 印刷物・消耗品のうち水と食料	2 4
④被災時の公的支援がない時期に必要な 印刷物・消耗品・貯蔵品	2 5
⑤被災時の公的支援がない時期に必要な用具・備品	2 6
9. 手順書	
No.1 はじめに読んでください	2 9・3 0
No.2 発電機と投光器の設営	3 1～3 5
No.3 避難者を最初の待機場所に誘導	3 6・3 7
No.4 安全点検未了建物への立入禁止処置	3 8・3 9
No.5 施設内の安全点検	4 0・4 1
No.6 受付場所を設営【事前（保健）・総合受付】	4 2・4 3
No.7 待機避難者の誘導	4 4・4 5
No.8 事前（保健）受付	4 6～4 9
No.9 トイレの準備	5 0～5 3
No.1 0 専用スペースの利用準備	5 4～5 7
No.1 1 一般避難スペースの準備	5 8～6 1
No.1 2 総合受付	6 2～6 8
No.1 3 施設内ライフラインの点検	6 9・7 0
No.1 4 災害対策本部（市役所）への連絡	7 1
No.1 5 本部及び班編成	7 2
1 0. 掲示物一式	
1 待機場所案内左	7 3
2 待機場所案内右	7 4
3 ①避難者の待機	7 5
4 ②避難者への協力	7 6
5 全体レイアウト図	7 7
6 土足厳禁	7 8
7 履物脱ぐ	7 9
8 入所受付は体育館	8 0
9 福祉避難所対象者は公民館へその1その2	8 1・8 2
1 0 ①事前（保健）受付	8 3
1 1 保健室	8 4

1 2	部屋前待機	8 5
1 3	発熱等区分一時待機所	8 6
1 4	専用スペース	8 7
1 5	一般スペース区画図	8 8
1 6	一般スペース区画割当表	8 9
1 7	②番受付	9 0
1 8	③番号交付受付	9 1

### 1 3. 帳票一式

1	安全確認チェック表【建物の外から】	9 2
2	安全確認チェック表【建物の中から】	9 3
3	健康状態チェックカード	9 4
4	避難所利用者登録票（表）	9 5
5	避難所利用者登録票（裏）	9 6
6	番号カード（見本）	9 7
7	番号カード交付チェック表（一般スペース）	9 8
8	番号カード交付チェック表（医療救護・発熱等）	9 9

## 避難所運営編（令和4年12月初版分を掲載）

### 1. 表紙 目次

	本部と班編成	1
	本部班の業務	2
	総務班の業務	4
	情報・広報班の業務	1 3
	食料・物資班の業務	1 6
	保健・衛生班の業務	2 4
	施設管理班の業務	3 1
	要配慮者支援班の業務	3 7
	ボランティア対応班の業務	4 1
2.	避難所運営マニュアル資料編	4 3～5 7
3.	避難所運営マニュアル様式集	5 8～8 7